

講義名	海外経済事情			
担当教員	辻 美代			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要

第二次世界大戦後、戦争の反省から世界の経済構造が大きく変わり、世界経済は大きくは拡大した。授業では戦後の世界経済の成長を確認しながら、その要因を考える。とりわけ、現在GDP世界2位の大国に成長した中国をはじめとしたアジア諸国の急成長を考える。

また、戦後世界経済の成長を大きく促進した冷戦終了の意味について考える。冷戦終了による「グローバル化」の促進により、世界経済は相互依存関係が深まった。経済の相互依存関係の恩恵を受け、中国は急成長してきたが、現在、米国と中国は経済覇権をめぐる対立を見せるようになった。次世代技術覇権をめくり米中は対立を深めているが、米中対立は中国と関係の深い日本経済、さらには世界経済に深刻な影響を与えている。

授業では、戦後世界経済の成長を俯瞰し、これからの経済を展望したい。また、各国・地域の個別経済事情も紹介する予定である。

到達目標

学生は、第二次世界大戦後の世界経済の発展について学修することで、貿易・投資を通じた世界経済の仕組みが分かるようになる。貧困問題や環境問題など現代世界が抱える諸問題を理解し、考察することができるようになる。経済「グローバル化」の現状について学修することで、現在、世界経済の抱える諸問題を理解できるようになる。

提出課題

授業資料を纏めたり、また、次回授業の予習として課題を出します。指示は全て授業内に行います。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題や小テストは次回授業で、模範解答を示し、解説します。

評価の基準

平常点、中間レポート、期末試験を総合して評価します。

- ・平常点（小テスト・課題）・・・50点
- ・中間レポート・・・20点
- ・定期試験・・・30点

履修にあたっての注意・助言他

先ず、日本に対して興味関心を抱くこと、自国への理解なく、他国への理解は不可能です。世界の中で自分たちが生活していることを実感しましょう。そして、テレビ・新聞・雑誌などを通じて様々なニュース、関連情報を取得するようにして下さい。

教科書	.教科書は使用しない。 .			

プリント資料及び参考文献

授業で資料を提示します。
また、授業の中で参考文献を紹介します。

授業計画

1. 授業の主題と世界経済の現状
2. 戦後の経済構造の変化
3. 戦後の経済構造の変化
4. 冷戦終了の意味
5. 冷戦終了の意味
6. 中間まとめと小テスト
7. NIESの発展
8. NIESの発展
9. 中国の経済発展
10. 中国の経済発展
11. ASEAN経済共同体について
12. EUについて
13. グローバル化と反グローバル化
14. 米中間隙について
15. まとめ

* 授業の進捗状況により計画を変更します
* 新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正があります

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業中に指示します・・・1時間程度
復習：授業で習ったことを、もう一度まとめ直してください・・・1時間程度
課題：授業中に指示します。図書館やインターネットで調べ、纏めてください・・・2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標、を達成することで、世界銀行や世界貿易機関（WTO）などの世界機関の役割を理解できる。GDPで示される一國ベースの経済発展に加え、幅広く世界経済の発展に目を向け、問題を提起することができるようになる。

目標、を達成することで、DP（2）の世界経済の動きが理解できるようになり、貧困や環境と言った問題に向き合い、解決策を提案できるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

* 新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正があります